



ロボットコース

対象年齢 教室 4歳～高校生

授業 80分×年44回

使用教材 LEGO SPIKE Python
LEGO WeDo

身につく力

- パソコンのスキル
- 問題解決力
- 論理的思考力
- 図形力
- 試行錯誤力
- やり遂げる力
- 集中力

使用教材の紹介

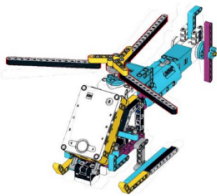
レゴブロックから出ているWeDoとSPIKEを使用します。レゴブロックでロボットを作り、そのロボットを自分で設定したプログラムで制御することができ、男女問わず人気のコースです。どちらもScratchと同じように、子供でも使用できるように開発されたプログラミングソフトです。WeDoはプレキッズ向け、SPIKEはジュニア～を推奨しています。WeDo,SPIKEともに、Pythonというプログラミング言語で制御されているため、ロボットコースはPythonまで学ぶことができます。Pythonはアプリケーション開発、人口知能、機械学習、データ解析など様々な用途に使用されているため、現代には欠かせないプログラミング言語とされています。



こんな教材で勉強します



ヘリコプター

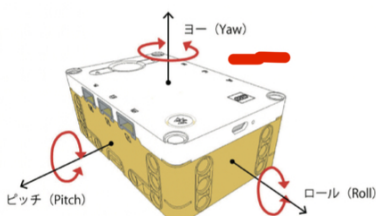


このプログラムを入れて、ヘリコプターの向きを変えてみましょう。ライトの形が変化したら成功です。

ラージハブの傾きについて知っておきましょう。今回は「ヨー角」という値を使います。

SPIKE プライム ラージハブの傾き検知

ラージハブは、傾きを検知することができます。傾きは、ロール (Roll)、ピッチ (Pitch)、ヨー (Yaw) の値で表されます。



■ヨー (Yaw)

